



2012.10.22

普及啓蒙活動

とっても地味 Part.1 だけど とっても大切

毎年、15回ほど、出張介助犬福祉講話&介助犬デモンストレーションを行っています。今回はその様子と地道な活動の大切さをお伝えします。会場から聞こえる“すすり泣き”“凄いな”“僕より上手”“介助犬に出会ったらやさしく見守ろう”“本当に介助動作をしてもらえれば助かる”“参加者全員が笑顔になれる素晴らしさ”等たくさんのご意見を頂きました。介助犬デモンストレーションを通して介助犬希望者の方も数名いらっしゃいます。一人でも多くの方に理解をしていただくことが介助犬普及につながるのです。15号会報で1年間の活動の特集します。

2012年9月22日 介助犬福祉講話&介助犬デモンストレーション【ハート&ハンド イベント】 ■主催■杉並区不自由児者父母の会

会場内では、ブランコやゲーム等、様々なレクリエーションが行われ、当協会は介助犬デモンストレーションとオリジナルグッズの販売を行いました。杉並区不自由児者父母の会様との出会いは、平成13年からの長いお付き合いで久しぶりに皆様にお会いできました。当時、現役で活動していたウイリーも特別参加しました。デモンストレーションが始まる前から、ステージの前にはたくさんの方たちが集まって頂き、とても和やかな雰囲気の中、一つ一つの介助動作ができるたびに大きな拍手をいただきました。

2013年5月11日 介助犬福祉講話&介助犬デモンストレーション

国際ロータリー南陽臨雲ロータリークラブ主催の福祉講和・介助犬デモンストレーションが行われました。山形県南陽市での開催、デモンストレーション犬5頭+スタッフ4人が1台の車に乗り込み、前日の朝に山梨の訓練センターを出発、現地に着いたのは夕方約8時間の長旅でした。当日は、150名程の方たちがお集まり頂き、介助犬デモンストレーションが始まりました。アラン(3歳♂)が基礎動作・携帯を探して持ってくる、段差介助など。ハリー(3歳♂)は拾い上げ、ゴミをゴミ箱に捨てる。カノン(8歳♀)が冷蔵庫から飲み物を持ってくる、足のリフトアップ等の介助

2013年6月4日 介助犬福祉講話&介助犬デモンストレーション及び高齢者介在活動

【開催場所】 油壺ソノラスコート
2013年8月22日 夏休みボランティア講座「介助犬について学ぼう」
群馬県玉村町社会福祉協議会主催
今年で4回目の開催でした。
毎回、たくさんの子供たちや地域の方々に参加して頂き、今年も約170名の方にお集り頂きました。
介助犬とはどんな犬なのか？
どんな仕事をして助けてくれるのか？
障害のある人とどんな生活をしているのか？
介助犬のことをたくさん知ってもらおう為
に、介助犬普及啓蒙DVDの上映、介助犬



2013.8.22